



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 各務 正人
 (氏名) 吉野 裕規
 TEL 03(5441)7193

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	616	11.8	100		90		89	
2019年3月期第2四半期	699		7		11		0	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 98百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 1百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	76.43	
2019年3月期第2四半期	0.73	

(注) 2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	843	263	26.9
2019年3月期	722	209	28.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 227百万円 2019年3月期 207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	19.1	30		30		25		21.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動についての該当事項はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,166,002 株	2019年3月期	1,163,842 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	102 株	2019年3月期	74 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,164,877 株	2019年3月期2Q	1,162,274 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2019年11月14日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間において、タイムチケット事業を分社化し株式会社タイムチケットを設立し、連結の範囲に含めております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用所得環境は底堅さを維持し、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の通商政策に伴う貿易摩擦の影響が懸念されるなど世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのソーシャル・ウェブメディア事業及びシェアリングビジネス事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、企業の積極的な人材採用や副業解禁の流れに伴い、採用ブランディングやシェアリングビジネスへ需要が高まっております。

また、当社グループのビジネスアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業が進める働き方改革や、AI・オムニチャネル、ブロックチェーン等デジタル変革へのIT投資によって、引き続き、当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、当社グループの業績につきましては、ソーシャル・ウェブメディア事業では、キャリアコネ及びキャリアコネ転職の収益貢献によりセグメント利益を計上しております。ビジネスアプリケーション事業では、一部契約での受注損失引当金によりセグメント損失を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は616,997千円(前年同四半期比11.8%減)、営業損失は100,810千円(前年同四半期は営業利益7,959千円)、経常損失は90,912千円(前年同四半期は経常利益11,000千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は89,032千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失850千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、働く人のための情報プラットフォーム、キャリアコネ、キャリアコネ企業研究Resaco、キャリアコネニュースへの訪問者数は堅調に推移しました。また、キャリアコネ転職では、採用成果報酬型の売上が期初計画どおりに推移し、前期に開始した求人広告及び採用代行サービスの営業組織強化に投資しております。

以上の結果、ソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は342,211千円(前年同四半期比7.9%増)、セグメント利益は86,277千円(前年同四半期比52.1%増)となりました。

② ビジネスアプリケーション事業

ビジネスアプリケーション事業は、顧客体験管理(CXM)(注1)を重点領域に定め、コンサルタントの育成、マーケティング及び営業活動に係る要員を増強しました。ただし、一部のソフトウェア開発契約で大幅な工数増加が発生したため、受注損失引当金を計上しました。また、オムニチャネル販売管理ソリューションVoxer OMSを自社開発していましたが、この事業の見直しを行い、自社製品の開発を中止し組織再編を実施しました。

以上の結果、ビジネスアプリケーション事業の売上高は257,988千円(前年同四半期比30.5%減)、セグメント損失は69,377千円(前年同四半期はセグメント利益62,865千円)となりました。

③ シェアリングビジネス事業

シェアリングビジネス事業は、CtoC向けサービス(注2)及びシェアリング・エコノミー型サービス(注3)を展開する株式会社タイムチケットが運営するTimeTicket(タイムチケット)及びスイスZug州のTimeTicket GmbHが対象セグメントです。タイムチケットは、個人が空き時間を売買するサービスとなります。7月から法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスとなるTimeTicket Pro(タイムチケットプロ)を開始いたしました。6月にタイムチケット事業を分社化し、6月及び8月に第三者割当増資により152,185千円を調達しております。タイムチケットにおいては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるシェアリングビジネス事業の売上高は17,268千円(前年同四半期比51.8%増)、セグメント損失45,081千円(前年同四半期はセグメント損失27,623千円)となりました。

(注1)顧客体験管理(CXM)とは、カスタマーエクスペリエンスマネジメント(Customer Experience Management)の略で、顧客と企業との関係を、顧客と企業との接点において生じる一連の体験として捉えなおし、体験の質を向上させることで長期的に顧客ロイヤルティを高めようとする手法のこと。

(注2)CtoC向けサービスとは、商取引の形態のうち主に一般消費者どうしの売買・取引を扱う形態のサービス。

(注3)シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸出しを仲介するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ121,329千円増加し、843,711千円となりました。これは主に現金及び預金の増加18,415千円、仕掛品の増加33,919千円、前払費用の増加29,124千円、長期前払費用の増加25,802千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ66,927千円増加し、580,044千円となりました。これは主に、前受金の増加95,863千円、長期借入金の増加23,099千円、受注損失引当金の増加18,000千円、未払費用の減少41,137千円、1年内返済予定の長期借入金の減少25,002千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ54,402千円増加し、263,667千円となりました。これは主に資本剰余金の増加110,273千円、親会社株主に帰属する四半期純損失89,032千円、非支配株主持分の計上35,305千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、464,654千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、130,990千円の減少となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失の計上92,742千円、前払費用の増加54,848千円、未払費用の減少41,137千円、棚卸資産の増加33,919千円、前受金の増加95,863千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、629千円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1,910千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、151,358千円の増加となりました。これは、非支配株主からの払込による収入152,185千円、長期借入金の借入による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出101,903千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、緩やかな景気回復基調の中で、求人・転職市場を取り巻く環境、クラウド市場を取り巻く環境の堅調な需要を背景に、売上高は1,600,000千円となる見込みです。また、利益面では売上の増加により、営業利益は30,000千円、経常利益30,000千円、当期純利益25,000千円となる見込みです。なお、2018年4月13日に開示した「スイス子会社設立及びICO実施に向けたFINMAへの申請並びに連結決算への移行に関するお知らせ」による業績に与える影響につきましては、本ICOについては、その内容は現時点では未定ですが、今後検討を進め、その内容及び実施について決議を行い、本ICOの詳細を速やかに開示する予定です。また、本ICOが当社の業績に与える影響につきましても、現時点ではその内容等が確定していないため明らかではありませんが、判明し次第、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	446,238	464,654
売掛金	188,693	194,868
仕掛品	18,839	52,759
前払費用	40,781	69,906
その他	5,914	5,800
流動資産合計	700,467	787,988
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	9,724	18,142
長期前払費用	-	25,802
その他	12,189	11,777
投資その他の資産合計	21,914	55,722
固定資産合計	21,914	55,722
資産合計	722,381	843,711
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,686	19,175
1年内返済予定の長期借入金	127,160	102,158
未払費用	106,624	65,487
未払法人税等	858	519
未払消費税等	22,290	16,062
前受金	49,146	145,009
賞与引当金	7,038	14,912
返金引当金	252	197
受注損失引当金	-	18,000
その他	55,227	54,588
流動負債合計	395,284	436,111
固定負債		
長期借入金	117,809	140,908
繰延税金負債	22	3,024
固定負債合計	117,831	143,932
負債合計	513,116	580,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,051	90,617
資本剰余金	291,412	401,685
利益剰余金	△176,085	△265,118
自己株式	△345	△401
株主資本合計	205,032	226,782
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,843	269
その他の包括利益累計額合計	2,843	269
新株予約権	1,390	1,310
非支配株主持分	-	35,305
純資産合計	209,265	263,667
負債純資産合計	722,381	843,711

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	699,522	616,997
売上原価	371,326	348,128
売上総利益	328,195	268,868
販売費及び一般管理費	320,235	369,679
営業利益又は営業損失(△)	7,959	△100,810
営業外収益		
受取利息	203	69
為替差益	8,871	-
仮想通貨売却益	-	2,984
雑収入	952	22
持分法による投資利益	-	8,478
営業外収益合計	10,026	11,554
営業外費用		
支払利息	431	324
為替差損	-	1,322
雑損失	442	2
仮想通貨評価損	695	7
持分法による投資損失	5,416	-
営業外費用合計	6,986	1,655
経常利益又は経常損失(△)	11,000	△90,912
特別利益		
新株予約権戻入益	320	80
特別利益合計	320	80
特別損失		
減損損失	254	1,910
特別損失合計	254	1,910
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	11,065	△92,742
法人税、住民税及び事業税	11,300	519
法人税等調整額	615	3,002
法人税等合計	11,916	3,521
四半期純損失(△)	△850	△96,263
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△850	△89,032
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△7,231
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△2,513
持分法適用会社に対する持分相当額	△609	△60
その他の包括利益合計	△609	△2,574
四半期包括利益	△1,459	△98,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,459	△91,665
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△7,172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	11,065	△92,742
減損損失	254	1,910
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,843	7,874
受注損失引当金の増減額(△は減少)	7,334	18,000
受取利息	△203	△69
支払利息	431	324
為替差損益(△は益)	△8,871	1,322
持分法による投資損益(△は益)	5,416	△8,478
新株予約権戻入益	△320	△80
売上債権の増減額(△は増加)	△18,367	△6,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,521	△33,919
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,657	△7,511
前払費用の増減額(△は増加)	△6,343	△54,848
未払金の増減額(△は減少)	2,744	1,122
未払消費税等の増減額(△は減少)	923	△6,227
未払費用の増減額(△は減少)	△39,044	△41,137
前受金の増減額(△は減少)	39,039	95,863
その他	1,941	△5,027
小計	11,709	△129,798
利息の受取額	203	69
利息の支払額	△431	△403
法人税等の支払額	△847	△858
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,633	△130,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△254	△1,910
関係会社株式の取得による支出	△10,734	-
長期貸付金の回収による収入	11,500	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	510	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△30,006	△101,903
株式の発行による収入	4,106	1,131
自己株式の取得による支出	-	△55
非支配株主からの払込みによる収入	-	152,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,899	151,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,871	△1,322
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,883	18,415
現金及び現金同等物の期首残高	426,429	446,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	420,545	464,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社である株式会社タイムチケットは、2019年6月28日、2019年8月30日に第三者割当増資を実施し、総額152,185千円の払い込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が109,707千円増加し、親会社である株式会社グローバルウェイの新株の発行による565千円の増加と合わせて、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が401,685千円となっています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、タイムチケット事業を分社化し株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソーシャル・ウェブ メディア事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	317,060	371,090	11,371	699,522	-	699,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	317,060	371,090	11,371	699,522	-	699,522
セグメント利益又は損失 (△)	56,715	62,865	△27,623	91,957	△83,997	7,959

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△83,997千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソーシャル・ウェブ メディア事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	341,740	257,988	17,268	616,997	-	616,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	470	-	-	470	△470	-
計	342,211	257,988	17,268	617,468	△470	616,997
セグメント利益又は損失 (△)	86,277	△69,377	△45,081	△28,182	△72,627	△100,810

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,627千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 報告セグメントに帰属しない全社費用として固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、1,910千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から、「ソーシャル・ウェブメディア事業」に含まれていた「シェアリングビジネス事業」について、株式会社タイムチケットを設立したことを契機に組織変更を行ったため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社の連結子会社である株式会社タイムチケットは、2019年10月31日開催の取締役会において、第三者割当増資を行うことを決議いたしました。

1. 子会社の増資の目的

株式会社タイムチケットは、2016年11月から個人の時間をチケットにして販売できるサービス「TimeTicket（タイムチケット）」事業の展開を開始いたしました。企業の副業解禁やフリーランサーの増加に伴い成長してまいりましたが、さらなる飛躍に向け、2019年4月1日に株式会社タイムチケットを設立し、2019年6月以降に事業を承継することといたしました。

今回の増資は、7月から新たに開始したフリーランスと企業をつなぐ「TimeTicket Pro」と「TimeTicket」のシステム開発及びユーザー獲得のための広告宣伝費への投資を目的としており、事業の伸長を目指してまいります。

2. 増資を行う子会社の概要

- (1) 名称 株式会社タイムチケット
- (2) 所在地 東京都港区浜松町1丁目7番3号
- (3) 事業内容 タイムチケット事業
- (4) 資本金 81,092千円
- (5) 設立年月日 2019年4月1日
- (6) 出資比率 67%